



金笈潤澤仕法書

3256



114
A 3630

金米回澤仕法書



大正十一年
大隈侯爵邸

小管兩所産米凡此米類有之
 其成りは在り米類其の産節又々
 市場相違り方中
 如斯く之の扱毛有之り
 小管回澤仕法
 一 米穀賣市場各所
 小管兩所産米凡此米類有之

現代金融の中心は元々貸付であり、銀行が中心である。銀行は貸付の利益を確保するために、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。

一 諸業方より東京に出入り金を多く取付く元金州は、何れも貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。

また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。

一 貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。また、貸付のリスクを分散するために、貸付のポートフォリオを多岐にわたる業種に分散させる。

羊息存正方竹年七格之次

所憐慈願之通而 作舟至成中意及于願亦取之

辰
十二月

敬會新所住后
會討居官格向支配
四月
牧田宗實

